



# いのちのたび



1年のうちで一番過ごしやすい季節の5月になりましたが、みなさんは、いかがお過ごしでしょうか？いのちのたび博物館は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、当面の間、入場者等を制限して開館しています。

みなさんも健康に気を付けて当館へ来てくださいね♪。

今回は、4月29日(日・祝日)から5月30日(日)まで開催している特別展「北九州・産業都市の軌跡」を紹介し

## 北九州ミュージアムパーク連携企画展

好評開催中

### 「北九州・産業都市の軌跡」

資料はどこに行こうかな？



みなさんは、北九州市が産業都市として、どのように発展し、また変化してきたか、知っているかな？ここにあげた三か所の場所に行くと、わかると思うよ♪。

#### 1 いのちのたび博物館

昔の地図や写真などの関連資料や人口、土地利用、景観などに注目して、北九州市の産業都市としての発展と変化を明らかにします。



安川敬一郎宛 浪沢栄一書簡

こんにちは！NHK大河ドラマ「青天を衝け」の主人公である「浪沢栄一」です。

安川氏に「若松築港会社の会長にどうしても就任して欲しい、あなた以外にいない」と説得しており、二人の信頼関係が感じられる書簡です。是非、読んで下さい！



1960年代の洞海湾

#### 2 環境ミュージアム

都市の発展に伴って発生した公害と、その克服に向けた取り組みを紹介します。またこれまであまり取り上げられてこなかった様々な公害についても紹介します。

えっ！洞海湾がこんなに汚れていたんだー。どんな取り組みをして今のキレイな海を取り戻したのかなあ？

#### 3 旧鶴屋本店

製鉄所のある街とともにあった菓子屋「鶴屋」の店舗を再現して、お菓子のサンプルや昭和を感じさせるレトロな箱、包装紙などの資料や商店街の古写真などを展示して、当時の生活や風景の変遷を紹介します。



レトロな箱だね～♪

昔の商店街の写真もあるよ。見に来てね。



# ミュージアムのタネ

こんにちは！僕、「ドン・グリオ」だよ。さて、5月号では、「小学校3年生」と「中学校2年生」の理科に出てくる内容だよ。みんなに楽しんで読んでもらえるとうれしいなあ！

## 昆虫のからだのつくり

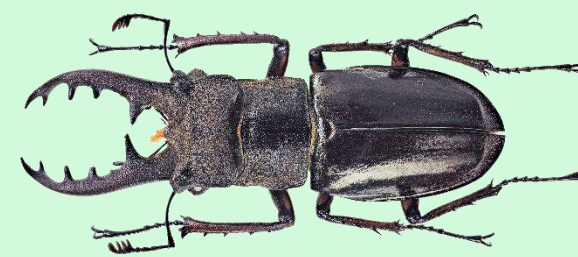
昆虫の体は、頭・胸・腹の3部分に分かれています。脚は六本で、胸から生えています。昆虫の多くは翅をもっており、翅も胸から生えています。昆虫は多様で、いろいろな形をしたものがありますが、これらはこの基本を変化させる（なくしたり、形を変えたり）ことで実現しています。

甲虫は、カブトムシやクワガタムシのように、体が硬く覆われた昆虫の仲間です。頭と胸も硬くなっていますが、何より前翅が硬くなって胸の一部と腹をおおい隠しているのが特徴です。甲虫は、この防御力の高い体を武器に、様々な環境に適応しました。硬くなっているのは前翅だけなので、後翅は飛ぶ能力を備えています。そのため、長い距離を飛んで移動できるものもいます。

写真はクワガタムシ（ミヤマクワガタ）とテントウムシ（ナミテントウ）で、両方とも甲虫の仲間です。クワガタムシの雄は長い大顎を持ち、これを使って戦うことが知られています。「あご」という名前の通り、もともと口の一部だったものが長く伸びた結果、このような形になっています。カブトムシの角（頭の一部と胸の一部が長くなったもの）とは異なり、あごであり角ではありません。

テントウムシはこれからの季節によく見かけると思います。ナミテントウは害虫となるアブラムシを食べるため、農業の代わりに使われることもある虫です。ナミテントウは模様が多样で、よく見かけるものから珍しいものまで、全く違う種類に見えるほどいろいろなタイプの模様をもった個体が現れます。この模様は遺伝することがわかっています。

今回紹介したのはクワガタムシとテントウムシですが、甲虫は昆虫の中でも最も多様なグループで、多くの種が含まれています。未だに新種や日本初記録となる種が見つかるグループで、わかっていないことも多く残されています。

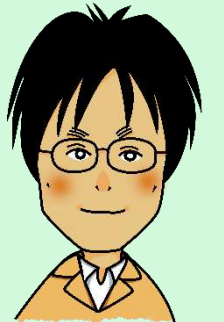


クワガタムシ



テントウムシ

自然史課学芸員 (昆虫担当)



藪島 悠介

## 二枚貝と共生する奇妙な形をした

### アンモナイトの新種を発見！！

この度、当館および徳島県立博物館、大阪市立自然史博物館が所蔵する香川県から発見された化石を共同研究した結果、新種のアンモナイトであることがわかりました。この御前学芸員の研究発表の詳細と特別展示については今後報告します！お楽しみに！

